

1 教育・保育施設

番号	区分	担当課	量の見込みと確保の内容	平成27年度進捗状況					平成27年度 (計画数) B	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	確保の方針
				実績数 A	(実績数 -計画数) A-B	進捗状況の説明 (確保の方針に照らし、前年度からの進捗 状況や、実績数と計画数との乖離理由等 について記載のこと)								
1	1号認定 (満3歳 以上、幼 稚園を利用 希望)	保育課	1 必要利用定員総数	1,631	△ 13	私立幼稚園利用者が通園している施設の 所在地で見ると、44%の利用者が、市 外の幼稚園に通園している。 今後は認定こども園の新設や既存の保育 施設が認定こども園への移行への対応が できるよう推進していく必要がある。	1,644	1,684	1,669	1,666	1,636	小金井市には、私立幼稚園6園、国立大学附属幼稚園1園の計7園 があり、定員数の合計が1,055人となっています。子ども・子育て 支援に関するニーズ調査にもあるように、市内幼稚園で確保される 定員数は、必要利用定員総数に大きく不足しており、市内の未就学 児童の多くが市外の幼稚園に通園しています。 今後は、認定こども園の新設や、既存の保育施設が認定こども園へ 移行を希望する場合の受入れ体制づくりによる円滑な認定こども園 への移行により幼稚園の利用ニーズに対応するとともに、保育施設 の整備を進め、現在の待機児童の状況から当初より保育施設の利用 をあきらめている2号認定児童の受入れ等により、現状よりも多く の児童が地域の施設に通園できる体制を整えます。 また、子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、今まで以上に幼稚 園と市との連携を進めていく必要があります。私立幼稚園協会等 の情報提供・交換による相互理解、幼稚園各園の共通した課題等 に対する支援を行うことにより、教育・保育の総合的な質の維持、向 上を図っていきます。		
			幼児期の学校教育の 利用希望が強い	117	△ 66		183	187	186	185	182			
			上記以外	1,402	△ 59		1,461	1,497	1,483	1,481	1,454			
			2 確保の内容	1,631	△ 13		1,644	1,684	1,669	1,666	1,636			
			特定教育・保育施設	98	△ 7		105	105	135	135	135			
			確認を受けない幼稚園	862	△ 88		950	950	950	950	950			
			市外の幼稚園	671	82		589	629	584	581	551			
過不足(2-1)	0	0	0	0	0	0	0							
2	2号認定 (満3歳 以上、保 育所を利用 希望)	保育課	1 必要利用定員総数	936	△ 124	社会や経済環境の変化により、近年関心 が高まっている待機児童の解消につい ては、定員拡充等に努めているものの解消 には至っていないが、子ども・子育て支 援新制度で新たに創設された小規模保育 事業や家庭的保育事業の開設等、年齢に 応じた保育ニーズに機動的に対応し、必 要利用定員数に対応した定員数の確保を 行うため、子ども・子育て支援事業計画 を着実に推進していく必要がある。	1,060	1,086	1,076	1,074	1,055	平成26年4月の待機児童数は257人となりました。共働き家庭の増 加等により、今後も引き続き保育ニーズが増加することが見込まれ ます。子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果からも、待機 児童の9割を占める0歳児から2歳児までの児童における定員数が 大きく不足し、喫緊の課題となっています。 0歳児から2歳児までの保育ニーズに機動的に対応するために、新 たに創設された小規模保育事業や家庭的保育事業の整備による確保 を行うと同時に、3歳児以上の受け皿や、連携施設の確保も視野に 入れた認可保育所の定員拡充、認定こども園も含めた整備を図りま す。また、小金井市の保育施策の一翼を担っている認証保育所を含 めた認可外保育施設について、計画期間中の整備を図り、平成29年 度までに必要利用定員総数に対応した定員数の確保を目指します。 なお、認可外保育施設については、特に3歳未満児及び多子世帯の 保育料負担の認可保育所との格差が指摘されています。小金井市に おいても保護者助成金を支給して保護者の経済的負担の軽減を図っ ていますが、保育を希望する家庭が等しく保育サービスを受けられ るよう、他市の状況も踏まえながら、所得の状況に応じた負担のあ り方を検討していきます。		
			2 確保の内容	1,032	△ 42		1,074	1,156	1,216	1,216	1,216			
			特定教育・保育施設	952	△ 35		987	1,085	1,145	1,145	1,145			
			地域型保育事業	0	0		0	0	0	0	0			
			認可外保育施設	80	△ 7		87	71	71	71	71			
過不足(2-1)	96	82	14	70	140	142	161							
3	3号認定 (満3歳 未満、保 育所を利用 希望) ① 3号 認定(0 歳)	保育課	1 必要利用定員総数	240	△ 13	253	251	249	247	245	平成26年4月の待機児童数は257人となりました。共働き家庭の増 加等により、今後も引き続き保育ニーズが増加することが見込まれ ます。子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果からも、待機 児童の9割を占める0歳児から2歳児までの児童における定員数が 大きく不足し、喫緊の課題となっています。 0歳児から2歳児までの保育ニーズに機動的に対応するために、新 たに創設された小規模保育事業や家庭的保育事業の整備による確保 を行うと同時に、3歳児以上の受け皿や、連携施設の確保も視野に 入れた認可保育所の定員拡充、認定こども園も含めた整備を図りま す。また、小金井市の保育施策の一翼を担っている認証保育所を含 めた認可外保育施設について、計画期間中の整備を図り、平成29年 度までに必要利用定員総数に対応した定員数の確保を目指します。 なお、認可外保育施設については、特に3歳未満児及び多子世帯の 保育料負担の認可保育所との格差が指摘されています。小金井市に おいても保護者助成金を支給して保護者の経済的負担の軽減を図っ ていますが、保育を希望する家庭が等しく保育サービスを受けられ るよう、他市の状況も踏まえながら、所得の状況に応じた負担のあ り方を検討していきます。			
			2 確保の内容	213	△ 13	226	251	254	253	253				
			特定教育・保育施設	159	4	155	184	187	187	187				
			地域型保育事業	17	1	16	22	22	22	22				
			認可外保育施設	37	△ 18	55	45	45	44	44				
			過不足(2-1)	△ 27	0	△ 27	0	5	6	8				
保育利用率	19.9%	-3.6%	23.5%	26.4%	26.9%	27.1%	27.3%							
4	3号認定 (1・2 歳)	保育課	1 必要利用定員総数	847	△ 38	885	861	853	846	840	平成26年4月の待機児童数は257人となりました。共働き家庭の増 加等により、今後も引き続き保育ニーズが増加することが見込まれ ます。子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果からも、待機 児童の9割を占める0歳児から2歳児までの児童における定員数が 大きく不足し、喫緊の課題となっています。 0歳児から2歳児までの保育ニーズに機動的に対応するために、新 たに創設された小規模保育事業や家庭的保育事業の整備による確保 を行うと同時に、3歳児以上の受け皿や、連携施設の確保も視野に 入れた認可保育所の定員拡充、認定こども園も含めた整備を図りま す。また、小金井市の保育施策の一翼を担っている認証保育所を含 めた認可外保育施設について、計画期間中の整備を図り、平成29年 度までに必要利用定員総数に対応した定員数の確保を目指します。 なお、認可外保育施設については、特に3歳未満児及び多子世帯の 保育料負担の認可保育所との格差が指摘されています。小金井市に おいても保護者助成金を支給して保護者の経済的負担の軽減を図っ ていますが、保育を希望する家庭が等しく保育サービスを受けられ るよう、他市の状況も踏まえながら、所得の状況に応じた負担のあ り方を検討していきます。			
			2 確保の内容	722	△ 38	760	823	863	861	861				
			特定教育・保育施設	528	△ 1	529	612	652	652	652				
			地域型保育事業	52	△ 13	65	77	77	77	77				
			認可外保育施設	142	△ 24	166	134	134	132	132				
			過不足(2-1)	△ 125	0	△ 125	△ 38	10	15	21				
保育利用率	35.5%	-2.8%	38.3%	43.2%	45.7%	46.0%	46.3%							